

## 音楽のアレンジ技巧が人に与える印象

音楽班：伊藤 彩門 馮 文玲

### 要約

音楽をアレンジすることで人に与える印象が変わるか検証した。校歌「朝霧」をそれぞれ異なる雰囲気を持つ曲の特徴を分析した上で、再現したい感覚に共通する特徴を取り出してアレンジしたところ、大まかな曲の印象は変えることができた。

### Abstract

We examined whether arranging music would change the impression given to people. After analyzing the characteristics of the songs with different atmospheres in the school song "Asagiri", we extracted and arranged the characteristics common to the feelings we wanted to reproduce, and we were able to change the general impression of the songs.

### 1. はじめに

私たちは普段音楽を聴くときに感じる「爽快感」などといった印象に着目し、アレンジによって音楽の印象を変えることができるかを探りました。そこで、特定の感覚を引き出す曲に使われている技巧を校歌「朝霧」をアレンジする際に組み込むことで、本当にその感覚を引き出せるか検証した。

### 2. 検証方法

アンケートをとり、「ジャズ感」、「疾走感」、「郷愁感」のそれぞれに代表される曲を選び、その曲のリズム、コード、伴奏などを校歌「朝霧」のアレンジに取り入れた。アレンジ後の朝霧を複数の生徒に聞かせ、印象の変化を調査した。

《1》

ジャズっぽいアレンジ

「丸の内サディスティック/椎名林檎」に代表される「ジャズ感」を表すためコードに注目。

《2》

スピード感を意識したアレンジ

「夏のどこかへ/WANIMA」に代表される「疾走感」では音色と打楽器の役割に注目。

音色：エレキギター ドラム

《3》

アルペジオ（分散和音）を使ったアレンジ

「カントリーロード」に代表される「郷愁感」ではアルペジオに注目。

音色：ピアノ エレキギター（クリーン）

### 3. 結果

《1》 どう感じるか？→明るい65% 暗い0% 懐かしい35% 悲しい0%

《2》 何を連想するか？→走っている76% 泣いている0% 踊っている24% 寝ている0%

《3》 どのように聞こえるか？→クラシック風25% ジャズ風75% 和風0% 中華風0%

### 4. 考察

音楽の大まかなイメージ（ネガティブ・ポジティブ）を変えることはできたが、ポジティブの中でも懐かしいと明るいとの印象の差など、細かい印象の区別をすることは難しかった。

### 5. まとめ

コードやテンポだけでは細かい印象の差をつけることは難しく、音色の相性や、そもそも人の感覚が何によるものなのか、なども考慮しなければならない。